

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	腎コロボーマ症候群におけるヒト疾患特異的iPS細胞を用いた疾患解析
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 腎臓内科学 古市 賢吾
研究期間	倫理審査委員会承認日～2022年3月
対象者	2014年6月～2019年3月までの間に、金沢大学にて腎コロボーマ症候群と診断され、京都大学にてiPS細胞作成に同意され、iPS細胞を作成された方
当該研究の意義・目的	今回の研究は、腎コロボーマ症候群に関連する遺伝子変異を伴ったiPS細胞から分化誘導した腎系譜細胞を用いて、腎コロボーマ症候群の特異的病態および発症進展機序解明、慢性腎臓病および急性腎障害での障害進展・修復機構の解明、および創薬スクリーニングに供する事が可能な評価系を作製することを目的明らかにすることです。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は、提供頂いた血液細胞から誘導したiPS細胞を用いて遺伝子およびタンパク発現情報等を収集し、得られたデータから腎発生および修復機序等を解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることはありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	共同研究機関である京都大学および金沢大学との間で、本研究に関する情報を共有します。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと個人を結び付ける対応表は、研究代表機関である金沢大学の個人情報管理者が保管・管理します。本学で実施する遺伝子解析検査について、解析者は誰の検体かわからない状態で解析を行います。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
研究代表施設・代表者	金沢大学医研究薬保健研究域医学系血液情報統御学 教授 和田隆志
研究組織	研究代表者：金沢大学医研究薬保健研究域医学系血液情報統御学 教授 和田隆志 研究分担者：京都大学iPS研究所 教授 長船 健二 金沢医科大学腎臓内科学 教授 古市賢吾 当院の研究責任者 金沢大学附属病院血液浄化療法部 助教 坂井 宣彦
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 腎臓内科学 古市賢吾 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 TEL：（代表）076-286-2211内線（3451）

作成日： 2019年07月08日